

次の、おいしさへ。

JAめむろ

夢あぐり

2026.

1

vol. 629

トップニュース
写真で振り返る2025



あけまして

おめでとうございます。

新春を迎えまして皆様のご多幸と
ご健康をお祈り申し上げます。



新年を迎えて

芽室町農業協同組合

代表理事組合長 廣江 英幸

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、令和8年の新春を穏やかに迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より地域農業の振興や農協事業の発展に、ご協力をいただいていることに感謝を申し上げます。

さて、本年は干支でいうと、「丙午（ひのえうま）」の年であります。馬は常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へ進むその姿は、目標に向かって進む人の象徴でもあります。今年の芽室町農業が馬のごとく飛躍の年となり、皆様の努力が報われる年となることを心より願うものであります。

昨年の本町農業を振り返りますと、雪解けは早かったものの4月から5月前半まで不順な天候となり、馬鈴しょ・てん菜の蒔き付けは例年より遅れましたが、5月中旬からは天候に恵まれスイートコーン・豆類のは種は順調にすすみました。その後6月から7月にかけても好天が続き、一昨年同様高温干ばつに経過したなか、どの作物も生育は前倒しとなりました。小麦については細麦も心配されましたが、主力品種のきたほなみで製品反収11.2俵、全量1等Aランクと幸先の良い収穫スタートとなりました。しかし、その後8月は周期的な降雨による高温多湿な気候で、馬鈴しょにおいては低ライマン・小粒傾向となり厳しい結果となりました。また、小豆・サヤインゲンにおいても高温の影響で花落ちするなど、収量は思うように伸びませんでしたが、一方大豆は、高収量となるなど同じ豆類でも差が出た年となりました。野菜類では、たまねぎで収量を落としましたが、ごぼう・ながいもなどは収量、品質とも良い結果となりました。このような作柄のなか、畑作部門の粗生産額は276億となり一昨年に次ぐ粗生産額となっています。

酪農畜産部門では、4月より生乳が増産へ舵が切られたこともあり、前年対比で103%を維持している状況です。肉用牛については、コロナ禍以降価格は低迷していましたが、昨年は回復傾向に推移し、畜産部門の粗生産額は110億円となりました。この

ような結果を受け耕種・畜種合わせた芽室町の農業粗生産額は386億となり、一昨年の382億を上回る過去最高の粗生産額となりました。第9次の5ヵ年計画では、「安定した粗生産額（348億円）」を掲げていますが、前年に続き上回ることができましたのも、ひとえに組合員の皆様のたゆまぬ努力と研鑽のたまものと、感謝を申し上げるしだいであります。

農業・JAを取り巻く環境ですが、海外に目を向けると、いまだにロシアによるウクライナ侵攻は治まらず、台湾をめぐる中国との関係も悪化している状況です。またトランプ政権の関税攻勢も日本経済に大きな打撃となっており、円安の影響による飼料・肥料・燃料をはじめとした生産資材の高止まりなどから、農業経営・農協経営に大きな影響を与えていました。また国内に目を向けると、先の参議院選挙で連立与党が大敗し、連立政権も自民党と維新の会による新たな枠組みになるなど、これから農政への影響が心配されるところであります。日本の農業、とりわけ十勝の農業は、農業政策に左右される場面が大きいわけですが、これからは農協自からも積極的に政策提言をおこなわなければならないと考えています。組合員の皆様に於かれましても農政への関心を高めてほしいと思います。

我々農業者の使命は、安心で安全な食料を安定的に消費者に届けることですが、経営者としては少しでも生産コストを下げるための努力も必要です。今一度経営を見直し、異常気象などのリスクに備えるようお願いいたします。JAとしても系統を通じて、食糧安全保障の重要性や、再生産可能な農畜産物価格の形成を国民・政府に対して訴えてまいります。

今年も芽室農協は「協力一致」の理念のもと組合員の経営と生活を守り、よりよい地域社会の実現を目指して事業推進いたしますので、皆様のご協力をお願いいたしますとともに、笑顔で豊穣の秋を迎えることをご祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

J Aめむろ 青年部部長 梶澤初太

青年部の皆様ならびに組合員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃より青年部事業にご理解とご協力を賜り、支えていただいているご家族や関係者の皆様にも心より感謝申し上げます。

昨年は夏場の記録的な猛暑や雨不足、秋の台風など極端な気象に翻弄されながらも、それぞれが知恵と工夫を凝らし合い、厳しい条件の中でもなんとか収穫へとこぎつけることができました。一方、肥料や資材・燃油の価格高騰、円安の長期化、国際情勢の混乱による輸入飼料の値上がりなど、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。世界各地の紛争や物流制約が市場の不安定さを増大させ、経営の見通しを難しくしていることもまた事実です。より一層、私たち農業の担い手が「食と農」の価値を社会に伝え、安心・安全な農畜産物を届ける責務

が大きくなっていると感じています。

こうした局面だからこそ、青年部員一人ひとりが柔軟な発想と行動力を發揮し、地域農業の課題を共有しながら新たな技術や情報を取り入れていくことが必要です。スマート農業や省力化機械の活用、直売やSNSでの発信など、次世代の農業を見据えた取り組みも重要です。食育活動やSNSによる情報発信はもとより、消費者に直接思いを伝える機会を増やし、顔の見える交流を大切にし、組合員や関係機関との絆をさらに深めてまいります。また、仲間づくりと学び合いを通じて、自らの経営や技術を磨き次代を担う農業者としての自覚と誇りを高めるとともに、未来の農業に夢と希望をつなげていきたいと考えております。

結びに、本年も皆様とご家族のご健勝とご多幸、そして穏やかな天候に恵まれ豊かな実りの秋を迎えることを祈念申し上げるとともに、地域農業が持続的に発展し、明るい一年となりますよう心より願い、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

J Aめむろ 女性部部長 高橋さおり

女性部の皆様、ならびに組合員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかに迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。昨年も女性部活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。日頃から地域の中で力を合わせ、家庭や農業を支えてくださっている皆様の姿に、あらためて女性の力強さと温かさを感じております。

昨年の天候は、雨が少なくかんばつ傾向が続き、猛暑による高温障害など、農作業においては厳しい条件が重なりました。作物の管理にもご苦労が多かったことと思います。それでも皆様が互いに助け合い、知恵を出し合いながら実りの秋を迎えたことは、本当に素晴らしいことだと感じております。

農業を取り巻く環境は、資材や燃料の高騰、気候変動、担い手不足など、先行きの見えにくい状況が続いています。しかし、そのような時代だからこそ、地域の結びつきや助け合いの心が何よりも大切ではないでしょうか。私たち女性部も、仲間とともに支え合いながら、食と農の尊さを次世代へつないでいく役割を担っていきたいと考えております。

本年も、笑顔と交流を大切にしながら、学びの場や地域とのふれあいを通じて、明るく活気ある女性部づくりをすすめてまいります。部員一人ひとりが輝けるよう、役員一同心を合わせてつとめてまいりますので、今後とも皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、組合員の皆様、ご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年が笑顔と実りにあふれる一年となりますよう、心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

本年も良い年でありますよう、
心からお祈り申し上げます。

会長理事 宇野克彦
 代表理事組合長 廣江英幸
 代表理事専務 堀井和宏
 常務理事 道場琢也
 理事 山上克己
 " 平井裕文
 " 片岡義幸
 " 児玉涉
 " 山口誠
 " 三上ますみ
 " 大道まみ子
 " 米山正美
 " 山川優紀
 " 野澤亮
 " 村瀬雅道
 代表監事 大野泰裕
 監事 古田聰
 監事 伊藤俊博
 常勤監事 柿川明則
 他職員一同

芽室町小麦生産集団協議会
 芽室町小麦採種組合
 芽室町種馬鈴薯生産組合
 芽室町加工馬鈴しょ生産組合
 芽室町北海コガネ生産組合
 芽室町食用馬鈴しょ生産組合
 芽室町灘原馬鈴しょ生産対策協議会
 芽室町玉葱生産組合
 芽室町ごぼう生産組合
 芽室町長芋生産組合
 芽室町南瓜生産組合
 芽室町百合根生産組合
 芽室町野菜出荷組合
 芽室町野菜苗生産組合
 芽室町枝豆生産組合
 芽室町枝豆ハーベスター協議会
 芽室きのこ会
 芽室町にんにく生産組合
 クノールスイートコーン耕作者組合
 芽室町生食スイートコーン生産組合
 芽室町寒玉キャベツ生産組合
 AWアグリフーズテクノ株式会社芽室耕作者組合
 芽室町ブロッコリー生産組合
 芽室町落花生生産組合
 JAめむろ馬鈴薯作業受託組合
 芽室町てん菜作業受委託組合
 芽室町酪農振興会
 芽室町乳牛改良同志会
 芽室町乳牛検定組合
 芽室町肉牛振興会
 芽室町養豚振興会
 芽室町酪農ヘルパー有限責任事業組合
 芽室町馬事振興会
 めむろファーマーズマーケット運営協議会
 JAめむろ青年部
 JAめむろ女性部
 芽室町畑作研究会
 JAコスモスの会

会長 児玉康陽
 組合長 瀬福寿
 組合長 谷大雅
 組合長 藤谷義貴
 組合長 藤屋武
 組合長 田土棚
 組合長 棚太
 組合長 鈴伊
 組合長 黒村
 組合長 滑堀
 組合長 嶋中
 組合長 亀川
 組合長 田野
 組合長 谷山
 組合長 谷屋
 組合長 本高
 組合長 橋北
 組合長 末松
 組合長 高吉
 組合長 末久
 組合長 木村
 組合長 永葉
 組合長 木川
 組合長 川賢
 組合長 皆啓
 組合長 小佐
 組合長 々木
 組合長 村澤
 組合長 岩間
 組合長 竹橋
 組合長 岩相
 組合長 梶高
 組合長 高澤
 組合長 桥澤
 組合長 佐武
 組合長 武藤
 長 壽
 長 祐
 長 弘
 長 士
 長 太
 長 啓
 長 信
 長 和
 長 隆
 長 信
 長 伸
 長 一
 長 初
 長 智
 長 まつ子

写真で振り返る2025年の

主な行事・出来事です。
みなさんにとって昨年はどんな年でしたか?



J Aめむろのホームページをリニューアル
(1月10日)

令和6年度総代研修講演会



北海道大学大学院 東山 寛氏

総代研修講演会開催

J A北海道中央会帶広支所 竹田賢太氏による「総代の役割」をテーマとした研修、北海道大学大学院 東山寛氏による「これからの農政と十勝農業の展望」と題した講演会の開催。(1月22日)



地区別懇談会



青年農業者研修懇談会



女性農業者研修懇談会

地区別懇談会・女性農業者研修懇談会・青年農業者研修懇談会開催

「地区別懇談会」では令和7年度事業計画について説明、「女性農業者研修懇談会」では“もっと芽室のおいしさを知ろう！”と題して試食会をメインに、「青年農業者研修懇談会」では“経営所得安定対策制度”などを題材として勉強会の開催。(2月3日、5日、6日、7日)



芽室町生食スイートコーン生産組合
第54回日本農業賞 集団組織の部「優秀賞」
受賞。表彰式に出席。(3月10日)

第97回臨時総代会



議長 棚田 英和総代と竹内 佑太朗総代
第97回臨時総代会
総代291名（書面議決195名、委任状2名を含む）が出席。(3月25日)

農業後継者新規就農激励会



農業後継者新規就農激励会

新規就農者7名が出席。 (4月11日)

第49回通常総代会

議長 土屋 太志総代と阿部 巧総代

第49回通常総代会

総代271名（書面議決180名、委任状3名を含む）が出席。 (6月20日)



「JAバンク×ファイターズ野球教室」開催
町内野球少年団2チーム54名の小学生が参加。
(7月30日)



愛菜屋「スイートコーン祭り」
7種類・約800本の茹でスイートコーン販売、
ミニトマトすくいを実施。 (8月9日)



第57回芽室町納涼盆踊り大会

J A畜産課による牛乳無料配布、青年部が出店。踊り子としてJA職員、JAめむろ青年部・女性部が参加。 (8月17日)



十勝めむろフリーズドライ終売

十勝めむろフリーズドライ（もろこし物語り／えだまめ物語り／あずき物語り）製造終了。
(10月頃)



愛菜屋収穫感謝祭

野菜の詰め放題や豚汁販売、ハロウィンかぼちゃの重量あてチャレンジなどを実施。
(10月12日)



めむろ大感謝祭2025

マチルダ詰め放題やJAめむろ冷凍商品の試食・販売などをおこない多くの方が来場し大盛況で終了。 (11月23日)

フォトコンテスト表彰式開催

12月8日、フォトコンテストの表彰がおこなわれ、廣江組合長から表彰状と副賞が手渡されました。



特賞作品「虹が出た」
撮影者 粟野秀明さん



(左より、堀井専務、吉田真弓さん、前崎仁美さん、廣江組合長)

第50回 JA十勝青年部大会

11月25日、第50回JA十勝青年部大会がホテル日航ノースランド帯広にて開催され、当青年部盟友69名が参加しました。

大会では、十勝地区農協青年部協議会稻屋津宇会長の開会挨拶後、各単組代表6名による「十勝地区JA青年の主張」、株式会社レバンガ北海道代表取締役社長の折茂武彦氏による「北海道のために～選手として、経営者として」をテーマにした基調講演、「動画で発信！農の魅力」コンテスト、「純農Boy十勝地区オーディション」がおこなわれました。

懇親会では、今大会より各単組の特産物をPRするブースが設けられ、当青年部から「めむろゴールドクラフト」を出店し、十勝の盟友にPRをおこないました。



折茂武彦氏による基調講演



めむろゴールドクラフトのPR

今月の **夢あく**

- P 3 新年を迎えて
P 6 写真で振り返る2025年
P 8 フォトコンテスト表彰式開催
JA YOUTH (青年部情報)
P 10 JA女性部(女性部情報)
P 11 「第3回JAめむろ 秋のまちなか演奏会」を開催いたしました
「第3回年金無料相談会」を開催いたしました

- P 12 令和7年産 馬鈴しょ情勢
P 14 令和7年度 試験成績概要
P 15 経営分析の申し込み受付が始まっています
P 16 講習会に参加しましょう！
　　こんにちは！経済部です
P 17 芽室町からお知らせ
P 18 農協法交付記念集会
　　理事会だより
P 19 連載 JAの基礎
P 20 芽室町農協史
P 22 共済課からお知らせ

第74回全道JA青年部大会

12月4から5日、第74回全道JA青年部大会が札幌パークホテルにて開催され、全道12地区から約800名の盟友が集い、当青年部から役員10名が参加しました。

大会では、「全道JA青年の主張大会」、「全道JA青年部活動実績発表大会」、「2025純農Boy北海道オーディション」、「動画で発信！農の魅力」コンテストなどがおこなわれました。当青年部の動画作品は全道入賞作品に選ばれる結果となりました。



[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

「北海道どさんこプラザ札幌店」に出店しました！

青年部PR活動として、12月6日にJR札幌駅内にある北海道どさんこプラザ札幌店にて「マチルダ」「めむろごぼう」「十勝めむろえだまめ」「めむろゴールドクラフト」を販売しました。

道内各地や道外、さらに海外からのお客様に芽室町農産物や青年部活動をPRすることができました。めむろゴールドクラフトは引き続き、店頭にて販売いたしますので、是非お手に取っていただき青年部の応援をよろしくお願ひいたします！



フレッシュミズ西部ブロック交流会 モルック大会で楽しく交流♪

11月18日、芽室町健康プラザでJAフレッシュミズ西部ブロック交流会が開催されました。今回はJAめむろが当番単組で「モルック大会」が開催され、JAめむろ18名、JA十勝清水町5名、JA新得町7名、JA鹿追町7名の総勢37名の会員・事務局が参加し交流を深めました。

大会は単組混合でチームを組み、8チームの総当たり戦でした。各チームはコミュニケーションを取りながら試合を進め、モルックが初めての方もメンバーの教えを受けて順調に得点を伸ばし、白熱した試合が繰り広げられました。

大会後は、焼肉KAGURAに会場を移して懇親会をおこないました。モルック大会のチームごと席に座り、各々希望したランチメニューを楽しみながら、仕事や育児のことなどの話をして交流を深めました。

次年度当番単組は、JA十勝清水町となります。



モルック大会のようす



懇親会のようす

J A十勝地区女性協議会 フレッシュミズ交流集会 「無理なくできる暮らしの工夫」を学ぶ

11月26日、農協連ビルでJA十勝地区女性協議会令和7年度フレッシュミズ部会交流集会が開催され、当フレッシュミズ部員14名を含む、約70名の十勝地区の部員および事務局が集いました。

今年度は、講師 片付けクリエイター はせがわあかね氏による「無理なくできる暮らしの工夫」をテーマにした講座が開かれました。この講座は昨年度2月に企画されていましたが、大雪で中止となってしまったもので、今回待望の開催となりました。はせがわ氏から片付けへの向き合い方について経験談を交えながらお話しいただき、参加者ははせがわ氏のお話しに共感しながら真剣に聞き入っていました。講座終了後、参加者は各自の片付けの悩みについて、講座の内容を交えながら語り合い、交流を深めていました。



参加したみなさん

「第3回 JAめむろ 秋のまちなか演奏会」を開催しました

11月8日、めむろーどセミナーホールにて、芽室高校吹奏楽部による「第3回 JAめむろ 秋のまちなか演奏会」を開催いたしました。

本演奏会には、年金友の会の会員のほか、幅広い年代の地域の方々など227名の方にご来場いただきました。

演奏会は、行進曲「若人の心」からはじまり、「どんなときも。」「明日があるさ」「負けないで」などの懐かしく親しみある曲のメドレー演奏で、会場は一体感に包まれました。

アンコールでは「マツケンサンバ」を披露、リズミカルな演奏に自然と大きな手拍子が起り、会場は盛り上がりを見せました。

演奏会終了後、来場された皆様からは「高校生が頑張っている姿を見られて良かった」、「来年も引き続き開催してもらいたい」など多くの声が寄せられました。

「年金友の会」では、今後も年金相談会など、様々なイベントを企画しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



芽室高校吹奏楽部による演奏



「第3回年金無料相談会」を開催いたしました

11月18日、農協本部事務所にて、第3回年金無料相談会を開催いたしました。

今回は、芽室町在住の社会保険労務士である宇佐美 敏文氏をお招きいたしました。

相談者からの「年金裁定請求書の記入方法」や「働きながら受け取る年金について知りたい」といった様々な質問に対して、宇佐美氏より丁寧に分かりやすく年金制度についてご説明いただきました。次回は、令和8年2月に開催を予定しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

J Aめむろでは、「年金新規加入＆年金指定替えキャンペーン」を開催しております。期間中に当JAに年金受け取りを開始されたお客様、また、そのお客様をご紹介いただいた方のお二人に「JCBギフト券（5,000円分）」をプレゼント。是非この機会に、当JAで年金のお受け取りをお願いします。



《年金新規加入＆年金指定替えキャンペーン》

期 間 令和8年3月31日まで

対象者 ①当JAで年金のお受け取りを開始する方、②ほかの金融機関から変更された方を③紹介してくれた当JAで年金お受け取り中の方

特 典 「JCBギフト券（5,000円分）」をプレゼント



令和7年産 馬鈴しょ情勢

食用馬鈴しょ

令和7年産食用馬鈴しょは、7月ごろまで続いた異常な高温・干ばつの影響から品種問わず塊茎数は少なく小玉傾向の作柄となり、収量は平年を下回る結果となりました。

収穫時期においては、馬鈴しょ塊茎の二次生長による変形が多発し、収穫作業が思うように進まない場面が多く見受けられました。このような状況のなか、本年の農協集荷実績は12,340t（メークイン・男爵薯・とうや・マチルダ）となり、改めて厳選出

荷いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

また、本年産の販売状況は、十勝・北見地区を中心とした全道的な不作の影響から出回り量が少なく、出荷開始以来堅調な市況展開となっております。

今後については、引き続き販売先と情報交換を密にし、系統との連携をはかりながら有利販売につとめ、併せて貯蔵管理の徹底と厳選出荷に努力してまいります。



加工馬鈴しょ

本年産も良品質馬鈴しょを出荷いただき、誠にありがとうございます。

令和7年産加工馬鈴しょの取扱実績は、カルビーポテト(株)、(株)パイオニアフーズ向けを合わせて38,094t（前年比9,221t減）の取扱結果となり、本

年度は、各品種で減収傾向にあり、高温・干ばつによる品質への影響を大きく受けた結果となりました。

加工馬鈴しょについては需要が高く、増反要請もあることから、今後の作付けについては何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■令和7年産 カルビーポテト(株)向け加工馬鈴しょ取扱実績 [受入数量]

※重量の値は、t未満の値を省略しております。

品種(件)	作付面積(ha)	規格外品重量(t)							規格外品重量(t)	正味重量計(t)	10a当収量正味重量(kg)
		1級	2級	3級	4級	有色馬鈴薯	格下品	計			
ワセシロ(4)	5.45	115	24	0	0	0	0	139	5	144	2,642
トヨシロ(126)	369.74	1,203	4,542	3,635	1,123	0	4	10,507	500	11,007	2,977
きたひめ(37)	71.31	0	68	685	1,094	0	45	1,892	73	1,965	2,756
スノーデン(56)	220.29	9	352	2,490	4,061	0	149	7,061	269	7,330	3,327
ぱろしり(129)	352.07	0	25	361	2,029	0	7,993	10,408	274	10,682	3,034
キタムラサキ(2)	5.50	0	0	0	0	126	0	126	38	164	2,982
ノーザンルビー(3)	7.38	0	0	0	0	212	0	212	1	213	2,886
R7年実績	1,031.74	1,327	5,011	7,171	8,307	338	8,191	30,345	1,160	31,505	3,054
R7年比率(%)		4.21	15.91	22.76	26.37	1.07	26.00	96.32	3.68	100.00	-
R6年実績	1,022.35	2,799	7,737	11,551	12,630	431	2,870	38,018	1,270	39,288	3,843
R6年比率(%)		7.12	19.69	29.40	32.15	1.10	7.31	96.77	3.23	100.0	-
R6年実績対比	9.39	▲1,472	▲2,726	▲4,380	▲4,323	▲93	5,321	▲7,673	▲110	▲7,783	▲789
R6年比率対比(%)		▲2.9	▲3.8	▲6.6	▲5.8	▲0.0	18.7	▲0.5	0.5	-	-

■令和7年産(株)パイオニアフーズ向けホッカイコガネ取扱実績

【等級別】	作付面積 (ha)	受入数量 (t)				
		1級	2級	3級	早出し出荷分	合計
R 7年産 実績	213.45	1,427	4,607	256	298	6,588
R 7年産 比率 (%)		21.7	69.9	3.9	4.5	100.0
R 6年産 実績	203.32	189	4,732	2,771	335	8,027
R 6年産 比率 (%)		2.4	59.0	34.5	4.2	100.0
前年対比 (t)		1,238	▲ 125	▲ 2,515	▲ 37	▲ 1,439

でん粉原料馬鈴しょ

令和7年産でん粉原料用専用品種は、前年より26ha 減の178ha 作付けされ、JA士幌でん粉工場への出荷量（一般品種含む）は正味重量で12,049t の出荷実績となりました。

原料受入は8月25日から10月23日までの実受入日数47日間で、原料受入期間中は生産者各位に多大なるご理解、ご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

■令和7年産でん原馬鈴しょ出荷実績

年 産	J A名	正味重量(t)	ライマン価(%)
令和7年産	芽室町	12,049	16.0
	9 J A	62,831	16.4
令和6年産	芽室町	15,507	17.0
	9 J A	73,191	17.3
令和5年産	芽室町	15,190	16.7
	9 J A	72,067	16.6

令和7年度 試験成績概要

芽室町農業再生協議会 クリーン農業推進委員会において、本年検討された課題についてお知らせします。
 成果が認められた試験結果については、別に「試験成績書」として郵送しております（掲載欄○印のみ）。
 ご不明な点は、農業振興センターまたはセンター主催の農業経営講座などでご質問ください。

作物名	掲載の有無	課題名	結果の要約
秋まき小麦	○	秋まき小麦（軟質）品種特性の確認	「きたほなみR」は、コムギ縞萎縮病発生は場において、生育は同等、収量は優ることを確認した。栽培面においては、「きたほなみ」と同様、起生期の窒素分肥は施用しないか少量にとどめ、幼穂形成期以降に重点的に施用する体系が良いと考えられる。
	×	秋まき小麦（硬質）品種比較展示ほ	「北海267号」は「ゆめちから」と比較して、生育、品質においては概ね同等であったが、収量はかなり劣ったことから、優位性は見られなかった。普及性においては、過去2ヶ年の生産性は良かったことから、最終的に製粉特性および実需者の製パン性などを考慮して判断する必要があると思われる。
馬鈴しょ	○	生食用新系統の地域適応性調査	新系統「北海115号」は「とうや」と比較して、茎数および塊茎数がかなり多く、熟期は3日程度遅かった。収量およびライマン価は優り、種いも生産を考慮すると、有望と考えられる。
	×	加工用「しんせい」展示ほ	「しんせい」は「トヨシロ」と比較して、生育、収量は同等で、腐敗塊茎は見られず、奇形塊茎の割合は多かったが、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有することから、代替品種として有望である。
	○	加工（フライ）用新系統の地域適応性調査	新系統「勝系61号」は「ホッカイコガネ」と比較して、ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモシロシストセンチュウ、疫病、Yウイルス病と多くの抵抗性を有し、茎数および塊茎数も多く収量も優った。しかし、腐敗を伴う中心空洞が見られ、食味も劣ることから、普及は難しいと思われる。
	○	バイオスティミュラント資材の効果確認	栄養吸収資材「ぐんぐん伸びる根」と高温対策資材「ヒートプロテクト」は、無処理区と比較して生育、収量および品質に対する効果はみられなかった。
	×	夏疫病防除薬剤の検討	「アミスター20フロアブル」「ミリオネアフロアブル」の夏疫病に対する防除効果は、対照薬剤「グリーンペンコゼブ」と比較して、収穫時の茎葉の状況から優位性がみられなかった。
	×	軟腐病防除薬剤の検討	本年は、生育期間を通じて乾燥傾向で推移したことから、軟腐病の発生が全体に少なく、薬剤の効果はみられなかった。
	×	そうか病低減に向けた検討	種子消毒薬剤「モンカットプラスフロアブル」は、慣行薬剤と比較して、そうか病低減に向けた効果は判然としなかった。また、かん水の効果においても、収量およびライマン価に効果が見られたものの、そうか病低減に向けた効果は判然としなかった。
	○	かん水効果確認	加工馬鈴しょに対するかん水は、茎葉の生育が旺盛で塊茎数はやや多く、1個重が重くなり、增收効果が確認された。
豆類	○	土壤水分のモニタリングおよびセンサーの検証	土壤水分センサーのモニタリングは、土壤水分を確認するのに有効と考えられたが、土質毎に土壤水分の変動は異なり、かん水基準の設定にはデータ蓄積が必要である。また、機体差や通信切断といった運用上の課題も多いことを確認した。
	○	大豆に対するバイオスティミュラント資材の効果確認	供試資材「アビオスリー」は、生育、収量および品質に対し特に優る点が見られず、効果はみられなかった。
	○	小豆新品種の現地適応調査	供試品種「きたいろは」は「きたろまん」と比較して、収量が同等であるものの品質面は劣る傾向が見られた。収穫ロスにおいては、中程度以上の倒伏の場合では優位性が見られなかったことから、普及性は低いと思われる。
	×	小豆栽培体系の検討	は種時期を遅らせるることは、小粒化の対策としては有効と考えられるものの、収量では明確な傾向が見られず、優位性は判然としなかった。また、整地の深さは、倒伏程度に差がみられなかったことから、継続して検討する必要があると思われる。

作物名	掲載の有無	課題名	結果の要約
豆類	×	小豆摘芯処理の効果確認	生育期間の摘芯処理は、主茎の伸長が制限され倒伏軽減の効果が確認されたものの、熟期が遅れるとともに葉落ちは悪く、収穫時期の判断が難しくなった。単年度の結果であることから、次年度も継続して確認する。
	×	衛星画像を活用した豆類生育早晚の精度検証	成熟期に近い時期に取得したNDVIデータは、実際の生育早晚、収穫時期を一定程度反映されており、そのデータを基に作成される早晚マップを活用することで、収穫順番の決定やコンバイン運行の参考にできると思われる。
スイートコーン	○	生食用スイートコーン品種比較展示会	「恵味スタンド88」は「ゴールドラッシュ88」と比較して、収量は同等で、品質面が優れていることから有望と考えられる。
さやいんげん	○	さやいんげん新品種の地域適応性調査	「BN-140」は慣行品種と比較して、適期に収穫をおこなうと規格内収量は優るもの、莢の肥大が早く収穫適期が短いこと、さらに莢が太く販売先の需要と適合しないことから、導入は難しいと考えられる。
たまねぎ	○	土壤水分モニタリングセンサーの精度検証	土壤水分センサー「Agriware」の測定値は、過去に整理したかん水指標の読み替えが可能であった。ただし、センサーの設置場所や深さなど、設置方法に課題が残った。
	○	かん水効果実証	過去に整理したかん水指標に基づき、土壤水分に応じてかん水をおこなうことで、増収効果が確認された。
飼料作物	○	飼料用とうもろこし品種比較展示会	生産性は、95日クラスの「プロフィ95」が優ったが、直近3年の積算温度であれば、105日クラスの栽培も可能で、その中では「P1543」が有望であった。
緑肥作物	○	小麦後作緑肥の品種比較展示会	緑肥作物の選定にあたっては、乾物収量を確保する場合、えん麦普通種、ソルガム類、パールミレット、チャガラシを選択することが望ましいと考えられた。また、キタネグサレセンチュウ対策としては、えん麦野生種の密度抑制効果は確認できたものの、えん麦いもち病の発生リスクを考慮すると、パールミレットが有効であると考えられた。
作業機械	×	ブロードキャスター肥料散布調査	供試したブロードキャスターでは、肥料の種類によってそれぞれ飛び方が異なり、これが肥料の特性かブロードキャスター側の設定によるものかは判断できなかった。また、は場外周側を想定し、境界散布装置の装着による散布精度については、改めて精度が高く効果的な活用について整理が必要と考えられた。

Digitized by srujanika@gmail.com

経営分析の申し込み受付が始まっています

年に一度、農場の健康診断をしてみませんか？

経営分析を通してできること

- ① 一年間の収入および支出取引の振り返り（確認）
 - ② 作物別所得の把握と比較
 - ③ 我が家の経営の改善点把握
 - ④ 家族間の情報共有

講座の参加申し込みはコチラから
<https://airrsv.net/ja-memuro-23bunseki/calendar>



【講座内容紹介動画 (youtube)】

講座內容紹介 編

<https://youtu.be/6kloHApZZrE>



準備 編

https://youtu.be/So3t-fnj_oo



※ 講座に関するお問い合わせは農業振興センター（62-8311）まで。

講習会に参加しましょう！

各機関主催の講習会が、例年通り、下記により開催が見込まれます。多くの方の参加をお願いいたします。開催時期および内容は、決まり次第、改めてご紹介します。

豆作り講習会

- 主 催／(財)日本豆類協会
- 日 時／令和8年2月(予定)
- 場 所／未定
- 講演内容／未定

高品質てん菜づくり講習会

- 主 催／(社)北海道農産協会
- 配 信／令和8年2月(予定)
- 場 所／未定
- 講演内容／未定

J Aめむろ資材センターインターフェア開催

11月20日(木)と21日(金)の2日間、ウインターフェアを開催しました。

当日は、資材センター内にて雪かきスコップや殺鼠剤類、作業ツナギ類の特価販売を実施し、多数のお客様にご利用いただきました。また、店舗前では最新の焼却炉や電動工具類、農業資材の展示会を開催し、実際に商品をご覧いただきながら検討いただける機会となりました。

資材センター南側広場では農業機械展示会を同時開催し、多数のお客様にご覧いただきました。



農薬早期取りまとめのご案内

本年も、農薬の早期取りまとめをおこないます。あわせて農薬直送大型規格の取りまとめも実施しておりますので、詳細は同封の取りまとめ用紙をご確認ください。また、個別相談は購買課事務所にて随時受付けておりますので、お気軽にご利用ください。

※ご相談、お問い合わせは購買課 (TEL 62-2909)

農薬担当：中野・森川までご連絡ください。

ひぐまっふ運用開始

令和7年12月1日（月）から、ヒグマの出没・こん跡情報について、タイムリーに把握することが可能なヒグマ出没情報共有システム（ひぐまっぷ）の運用を開始しています。

出没やこん跡の情報を地図上で確認できます。

また、芽室町HPのトップページと町LINE公式アカウントの「防災・天気」 - 「ヒグマ情報」からもご覧いただけます。

今後もタイムリーな情報発信につとめてまいりますので、ぜひご活用ください。

■その他

ヒグマの目撃などに関する情報は、従来通り芽室町役場へ電話もしくは有害鳥獣通報システムからお知らせください。

■ひぐまっぷ

U R L <https://higumap.info/map/637/2025>

QRコード



お問い合わせ先 芽室町役場農林課農畜産振興係 0155-62-9725

アライグマ防除講習会を開催します

近年、生息数が増加しているアライグマの防除を促進するため、外来生物法に基づく「アライグマ防除講習会」を開催します。参加を御希望の方は以下に掲載しているQRコードもしくはURLより申し込みフォームにアクセスし、事前にお申し込みください。

この講習会を受講されると、芽室町内に限り、猟銃免許（わな猟免許）を取得しなくても、アライグマを捕獲することができます。また、箱わなをお持ちでない方への無料貸出しもおこなっておりますので、新たに箱わなを購入する必要はありません。

なお、従来どおり町による箱わなの設置・捕獲も継続して実施していますので、アライグマ被害でお困りの方は、お気軽に担当係まで御相談ください。

- 日 時：令和8年2月3日（火）10:00～12:00
 - 場 所：芽室町役場庁舎2階会議室7・8
 - 定 員：30名（先着順）
 - 申し込み期限：令和8年1月26日（月）

URL <https://logoform.jp/form/FzdT/813624>

QRコード



問い合わせ先 菅谷町農林課農畜産振興係 電話：62-9725 p-nouchiku@memuro.net

農協法公布記念集会

11月19日に農業協同組合法公布記念集会を開催しました。

廣江組合長より、農協法公布から78年を迎え、農協は「農業者による農業者のための組織」であり、これから先も組合員をしっかりとサポートいただきたいとの訓話をいただきました。集会後には、永年勤続表彰を実施しました。

永年勤続表彰者は以下の通りです。

勤続30年表彰

福田 寛人 (管理経理課)

勤続20年表彰

山本 秀美 (組合員相談課)
阿部 忍 (燃料自動車課)
杉山 真由子 (購買課)

勤続10年表彰

市川 洋一 (農業振興課)



なお、各種試験合格者は農協職員資格認定試験をはじめ専門資格5分野にわたり、48名が合格しました。

~~~~~

## 理事会だより

### 第9回 (11月21日開催)

- ・議案第1号 令和7年度半期開示ディスクリージャー誌について
- ・議案第2号 固定資産の取得について（在庫管理システム）
- ・議案第3号 負担金・利用料の改正について
- ・議案第4号 令和7年度秋期地区別懇談会資料について
- ・議案第5号 利益相反取引に係る貸付について

#### 報告事項

- 1 主要なる内部および外部会議の概要について
- 2 みのり監査法人の期中Ⅰ監査結果について
- 3 総代研修講演会の開催について
- 4 マネロンなどの防止に係る対応状況について
- 5 固定資産の取得について（本部屋上改修工事）
- 6 令和8年産小麦の作付面積について

- 7 令和7年産農畜産物生産見込みについて
- 8 令和7年産小麦の概算払いについて
- 9 令和7年産原料てん菜概算金などの支払基準について
- 10 令和7年産原料てん菜概算払い単価および概算金額について
- 11 令和6年産共計小豆の精算について
- 12 令和7年産食用馬鈴しょ概算金の支払いについて
- 13 令和7年度10月末哺育育成預託事業稼働状況について
- 14 組合員の加入・脱退状況について
- 15 特定組合員の経営状況について
- 16 利益相反取引に係る貸付報告について

今回の理事会はもみじ会による傍聴のもと開催されました。

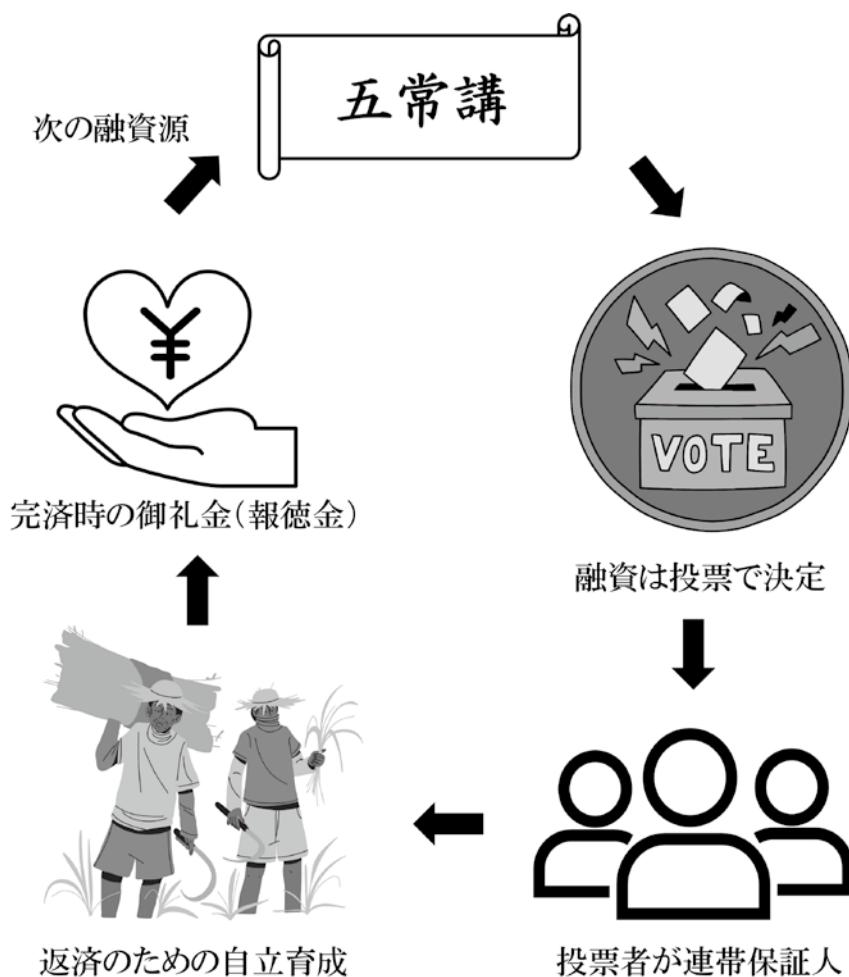
### 第38回 協同組合と報徳22

#### ◆二宮尊徳の生涯から学ぶもの◆

<二宮尊徳の歩んだ道>

金次郎は十四歳で父を、十六歳で母を亡くし、飢饉や災害で田畠まで無くし、苦労して成長しましたが、やがて家を再興し、三十一歳の時には栃木（現小田原市）でも指折りの農家になっていました。

当時、土農工商という階級社会の中で、尊徳は町村の経済復興（当時の主要産業は農業）に当たって、庶民階級の幸福を念じ、自由・平等・仁愛の精神で指導に当たったのです。また、道徳的なルールと経済的行為を調和・融合させることによって、五常講という現在の信用協同組合の基礎を作りました。



尊徳の生きた幕末は地球の寒冷期に当たり、飢饉や疫病、多くの災害が発生し、幕府も町村も農民も厳しい経済下にあり、そのうえ、農民は重税に苦しみ、やる気をなくし、まさに荒廃の時代でした。

このような時代の中で、人が強く不安なく生き抜き、世の中から不幸な人間をなくすため、尊徳が「人の心」「地域住民の生活」「地域経済」の立て直しに捧げた生涯の生活と体験を通して生まれた教えが「報徳」なのです。

(R1.9.30発行 北海道報徳情報別冊40号より一部抜粋)

高さ最高部 電気設備

三五尺三

一、電灯設備 螢光灯 一灯用十九  
二灯用六〇

七九灯

電灯 灯用受口

給水ポンプ

二、動力設備 給排水衛生設備

神野 T E M型

一基

一、給水ポンプ 二、衛生器具設備 小便器  
同 大便器 手洗器

七組 六組

三七灯

二 HP

### 購買店舗建物概要

|      |     |      |              |      |      |     |        |            |
|------|-----|------|--------------|------|------|-----|--------|------------|
| 電灯設備 | 高さ  | 外部仕上 | 階構           | 建物面積 | 敷地面積 | 着工  | 竣工     | 昭和三十二年六月四日 |
| 受電口  | 螢光灯 | 二五尺  | 鐵網モルタル塗、吹付仕上 | 二階   | 一階   | 同   | 七月三十一日 |            |
| 口灯   |     |      |              | 一五〇坪 | 七五坪  | 七五坪 | 一六二坪   |            |
| 九口   | 四灯  | 二八灯  |              |      |      |     |        |            |
|      |     |      |              |      |      |     |        |            |

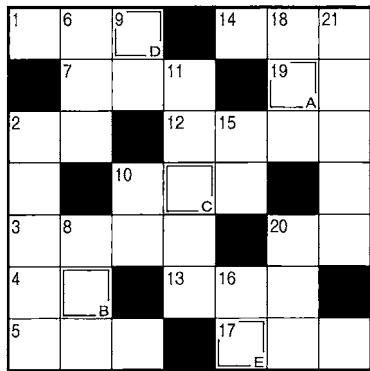
(二月号へつづく)

## パズル？頭の体操



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

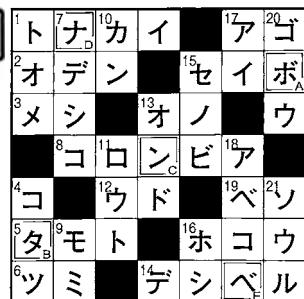
出題：ニコリ



※解答は2月号に掲載いたします。

12月号の  
解 答

A B C D E  
ボタンナベ



### ヨツのカキ

- 正月に食べる、モチ入り汁物といえば
- どら焼きに挟み込まれているもの
- おせち料理の定番の一品。卵が材料の一つ
- 交差——、及第——
- 右手が——、という人が多数派です
- 本を読み終えること
- ガラガラとのどを洗います
- 旅立つ人の——に駅のホームまで行った
- ワラや木やレンガの家を建てる童話があります
- 漢字で書くと百足。足の多い生き物です
- 椅子のこと。ロッキング——
- アルカリと混ぜると中和します
- 焚くとよいかおりが広がります

### タテのカキ

- メレンゲを作るときに使う道具
- 鍋料理の締めにも使う麺
- 晴れかなあ、雨かなあ
- 牛、豚、鶏のものがよく流通しています
- 令和8年の干支です
- 歯ブラシにつけます
- 自分の兄弟姉妹の息子
- ダルメシアンは——模様の犬です
- 書初め大会で——に選ばれた
- 受験生が空欄に書き込んでいくもの
- 単位はアンペアです

| 解 答 欄 |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|
| A     | B | C | D | E |

# 芽室町農協史

【本篇・芽室町農協の十年】

連載 No. 62

そは、新築出来るという年はなかつたので現状の事務所は老朽甚だしく何時事故が起るかも知れん状況なので、是非今年度に於て新築したい旨要望せり。

村瀬総代より、事務所の場所選定について又、購買店舗の空白期間をどうするか。

浦上総代より、組合員の安息所を設置してほしい。

山田総代より、今年は出資増口割当は行わないが、これは事務所新築のための作戦ではないか。

中田専務詳細に説明、尚組合長より出資増口割当については、今後行わない方針である。然し少額出資者には努めて増口して戴く。また諸配当を全額振替して戴けば二、三年後に当組合の出資金も貳億円になるので割当しなくても良い旨説明了承せり。なお山田、藤村、総代より、理事者において責任をもつて新築してほしい、農家が入り易い事務所に新築してほしい。しつかりした建築であれば内容について変更することは異議ない。放送文化協会も入れてほしい等の要望あり。ここで議長は、議場の空氣を考え、営農面に差支えがなければ新築に賛成と結論づけて異議なきやをはかりたるに、満場異議なく原案通り可決確定せり。

二つの新築建造物の概要はつきの通りである。

## 本部事務所

中村総代より、新築には賛成であるが同盟事業局を階下に入れてほしい。

藤村総代より同盟事務所の上か下かの問題はまだ早い新築に関して、数年来の凶作であるのであるが、芽室は比較的作況が良好であるように誤認される。然しそうした心配が解消されれば原案に賛成する。

山田総代より、地帶の意見は纏つていらないが、大勢の空氣として一年延期をしたいようである。

土井総代より、事務所を新築したことで営農資金出資金の関係が心配なれば賛成する。

中田専務より、現状の状況と後に予定する施設関係を説明し、尚財務処理基準令達成状況等について詳細に説明せり。組合長よりも四、五年前からの計画であり連年に亘る凶作や豊作貧乏等で今年こ

|      |                        |     |            |
|------|------------------------|-----|------------|
| 構造   | 鉄筋コンクリート造              | 着工  | 昭和三十二年六月四日 |
| 階数   | 地下一階、地上二階、塔屋付          | 竣工  | 十月三十一日     |
| 敷地   | 二七〇坪                   | 落成式 | 十一月十五日     |
| 建物面積 | 本館 地階 三一坪八七<br>一 一六七坪四 | 同   |            |
| 塔屋   | 二 一六五坪                 |     |            |
|      | 四坪一                    |     |            |
| 計    | 三六八坪三七                 |     |            |

外部仕上 正面及び北面、テラゾノブロック貼及び人造石洗出仕上、他の二面モルタル塗、吹付仕上

# 年末・年始の事故など連絡先のご案内

2025年12月31日（水）～2026年1月5日（月）の  
期間は休業いたします。

※1月6日（火）9：00～16：00営業。



## 自動車事故などの場合

24時間  
365日受付

J A共済事故受付センター

TEL：0120-258-931

### ▶夜間休日現場急行サービス

J A共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどをおこないます。

### ▶夜間休日初期対応サービス

初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応をおこないます。

### ▶休日契約者面談サービス

J A共済より業務委託を受けた休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご相談におこなえします。

■発行日／令和八年一月

■発行・編集／芽室町農業協同組合・常農部

■TEL／(0155)62-2313



## レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合

24時間  
365日受付

J A共済サポートセンター

TEL：0120-063-931

### ▶レッカーサービス

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場までお車をけん引します。※ご契約者様が法人の場合、契約内容によっては対象外となる可能性があります。詳細は共済課までご連絡ください。

### ▶ロードサービス

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、対応業者が現場へ急行し、30分程度で対応可能な、お車の応急対応をおこないます。



レッカーロードサービスについて、ご自身で手配した場合は15万円が補償限度額となります。無料サービスが必要な際は必ず上記J A共済サポートセンターへご連絡をお願いいたします。